

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	BX132／アジア経済史2 (Asian Economic History 2)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	アジア経済の成長史(戦時期～21世紀)		
担当者名 (Instructor)	竹内 祐介(TAKEUCHI YUSUKE)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ECX3710	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

日本を含む近代アジア経済の展開過程について理解し、アジア経済の多様性や、ヨーロッパおよびアメリカとの関係史を把握することを目標とする。

To gain an understanding of the development process of modern Asian economies including Japan for the purpose of grasping the diversity in the Asian economy and the history of its relationship with Europe and America.

授業の内容(Course Contents)

近代アジア経済の展開過程について、1930年代から1990年代までを中心に講義する。アジアとヨーロッパおよびアメリカとの経済関係を捉えつつ、アジア経済の展開における日本の位置づけを図っていく。なお、本授業は「アジア経済史1」の後編に位置づけられる。

This lecture mainly covers the modern Asian economy developmental process from the 1930's to the 1990's. The economic relationship between Asia and Europe and America is discussed while considering the positioning of Japan in the development of the Asian economy. This course is positioned as the second part of "Asian Economic History 1."

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 両大戦間期のアジア経済・概観
3. 「大東亜共栄圏」とアジア経済
4. アジアにおける脱植民地化過程
5. 戦後の国際秩序とアジア経済成長
6. アジア太平洋経済圏の興隆
7. 日本の高度経済成長
8. 第二次交通革命
9. キャッチアップ型工業化論
10. 開発主義
11. 冷戦体制とアジアの経済成長
12. 冷戦体制の動揺と中国の市場経済化
13. アジア太平洋経済圏とインドの工業化
14. 通貨危機後のアジアの分業構造

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

Blackboardに掲載する資料を各自がダウンロードし、予習して出席する。
ダウンロードした資料に授業中にメモを加えるなどし、授業終了後に復習する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(60%) / 小テスト(40%)
小テストは Blackboard を用いてほぼ毎回実施する。

テキスト(Textbooks)

教員オリジナルの教材を使用します。但し、教材作成に使用した参考文献は、授業中に提示します。

参考文献(Readings)

授業中に提示します。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

授業計画に変更がある場合は、授業中にお知らせします。

注意事項 (Notice)